

東京・代々木公園にて 「もしも FES 渋谷 2025」を開催！

～見て・食べて・遊んで・学べる 大人も子供も楽しめる都市型防災イベント～

開催日時:2025 年 8 月 30 日(土)・31 日(日) 10:00～17:00

こくみん共済 coop 〈全労済〉(全国労働者共済生活協同組合連合会 代表理事 理事長: 打越 秋一)は、一般財団法人渋谷区観光協会(代表理事: 金山 淳吾)と一般社団法人渋谷未来デザイン(代表理事: 小泉 秀樹)とともに、渋谷区の共催のもと、『もしも FES 渋谷 2025』を開催いたします。

本イベントは 2019 年まで開催されていた渋谷区総合防災訓練(SHIBUYA BOSAI FES)の流れをくんで 2022 年 9 月からスタートした渋谷区民・来街者参加型で「防災・減災」を普及啓発するイベントです。「イベントでの体験を通じて、もしものときに、自分で何とか出来る人を 1 人でも多くすることを目指す」ことを目的に、様々な企業・団体が参加し、体験ブースやステージイベントを開催します。

2024 年は台風の影響で残念ながら中止となりましたが、2023 年は 22,105 名にご来場いただき、73 団体の協賛・協力社とともにイベントを開催いたしました。メディア掲載数も 646 媒体にのぼるなど、「防災の日」にあわせた、もしもの備えの啓発に貢献してきました。



※写真は 2023 年開催時の様子です。

避難生活がどのようなものか想像がついていない人が約 6 割(こくみん共済 coop 調べ)。災害時の生活のリアルを伝え、災害時の QOL を高めるための「備えの在り方」を提案していく。

本年は「災害時のリアルを伝え、災害時の QOL を高める備えのあり方」を協賛・協力社のみなさまと考え、多くの来場者にもしもプロジェクトらしい形でお伝えしていけるイベントにしたいと考えています。メインとなる主催社コンテンツとしては、災害時のモヤモヤをワクワクに変える「防災アイテム活用大作戦」と題したブースで来場者参加型の企画を展開する予定です。

なお、「もしも FES 渋谷 2025」では、協賛・協力社様を募集しております。多くの企業様との共創により、来場者の方々にとって、新たな気付きや体験を数多く提供することを目指します。詳しくは下記をご確認ください。

■『もしも FES 渋谷 2025』実施概要

日時: 2025 年 8 月 30 日(土)・31 日(日) 10:00～17:00

会場: 代々木公園(東京都渋谷区代々木神園町 2-1)

入場料: 無料 ※雨天決行(荒天時は中止)

主催: こくみん共済 coop 〈全労済〉、一般財団法人渋谷区観光協会、一般社団法人渋谷未来デザイン、もしも FES 渋谷 2025 実行委員会

公式サイト(HP): <https://moshimo-project.jp/fes/>

本年のテーマ：災害時のリアルを伝え、災害時の QOL を高める備えのあり方

主催社ブース（予定）：「防災アイテム活用大作戦」

※現在、協賛社を募集中です。詳しくは公式サイト HP、または下記お問い合わせ先よりご連絡ください（6 月末募集〆切予定）。

お問い合わせ先： もしも FES2025 事務局宛 info@moshimo-project.jp

【開催実績のご紹介】 もしも FES 渋谷 2023

開催レポート：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000007.000106186.html>

開催レポート動画＜ダイジェスト篇＞：<https://www.youtube.com/watch?v=15xkaoMVN48&t=104s>

公式サイト HP：<https://moshimo-project.jp/fes2023/shibuya/>

※もしも FES 渋谷 2024 は台風の影響で中止になりました。

【もしもプロジェクトについて】

本プロジェクトは、東日本大震災から 10 年を契機とし、2021 年 3 月に立ち上げられました。

渋谷区観光協会、渋谷未来デザイン、こくみん共済 coop（全労済）の 3 団体が主催しています。

もしも首都直下地震が起きたら、多くの交通機関がストップし、帰宅困難者は約 500 万人、避難生活者は約 300 万人にのぼり、食糧も不足するという被害予測があります。また、予期せぬ災害の発生により、75%もの人が思考停止に陥り、適切な行動ができなくなると言われています。

「もしも」は「いつか」必ず起こるもの。しかし「もしも」に備えれば未来は大きく変わるはずです。本プロジェクトは、暮らす人、働く人、遊ぶ人など、多様な人が集う渋谷を舞台に、一人一人が「もしも」の日のために何ができるかを考え、備えることで、レジリエントな街づくりをめざす取り組みです。

公式サイト：<https://moshimo-project.jp/>

お問い合わせ先：info@moshimo-project.jp

＜一般財団法人渋谷区観光協会について＞

渋谷区観光協会は、2012 年 4 月に渋谷区と東京商工会議所渋谷支部が共同で設立した一般財団法人です。渋谷区観光協会は、官民協働による観光事業の振興を通して「国際文化観光都市・渋谷 SHIBUYA」の実現を目指しています。「PLAY! DIVERSITY SHIBUYA」をコンセプトに掲げ、「渋谷ブランド」の創造と確立、その情報を発信することによって、全世界から観光客を誘致し、都市の活性化と区民の豊かな生活、魅力的な街づくりを推進してまいります。

HP：<http://play-shibuya.com/>

＜一般社団法人渋谷未来デザインについて＞

渋谷未来デザインは、ダイバーシティとインクルージョンを基本に、渋谷に住む人、働く人、学ぶ人、訪れる人など、渋谷に集う多様な人々のアイデアや才能を、領域を越えて収集し、オープンイノベーションにより社会的課題の解決策と可能性をデザインする産官学民連携組織です。都市生活の新たな可能性として、渋谷から世界に向けて提示することで、渋谷区のみならず社会全体の持続発展につながることを目指しています。

HP：<https://fds.or.jp/>

＜こくみん共済 coop について＞

正式名称：全国労働者共済生活協同組合連合会

たすけあいの生協として 1957 年 9 月に誕生。「共済」とは「みんなでたすけあうことで、誰かの万一来に備える」という仕組みです。少子高齢社会や大規模災害の発生など、私たちを取り巻く環境が大きく変化しているなか、こくみん共済 coop は、「たすけあい」の考え方や仕組みを通じて「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」にむけ、皆さまと共に歩み続けます。

◆こくみん共済 coop たすけあいの輪のあゆみ：<https://www.zenrosai.coop/web/ayumi/>



国際協同組合年

国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標（SDGs）に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025 年を国際協同組合年（International Year of Cooperatives : IYC）に定めました。

こくみん共済 coop は IYC2025 に賛同しています。

<https://www.zenrosai.coop/zenrosai/profile/kokusai/iyc/2025.html>

たすけあいの輪をむすぶ

＜リリースに関する問い合わせ先＞ こくみん共済 coop SDGs・ブランド戦略部
〒151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10 電話：03-3299-4232／Email:koho@zenrosai.coop

＜ご掲載・ご取材に関するお問い合わせ先＞
株式会社ユース・プランニング センター 藤井、河名、川上
Tel:03-6821-8699 Fax:03-6821-8869
藤井:090-7900-7866 / s-fujii@ypcpr.com
河名:090-7900-2759 / k-kawana@ypcpr.com